

日野宿叢書 第五冊

佐藤彦五郎日記 二

附 新選組關係史料

日野市

目次

口 繪
例 言
目 次

三 佐藤彦五郎日記

元治元年（一八六四年）十月〜慶応三年（一八六七）十二月

元治元年十月

十月 1 十一月 2 十二月 5

【挟み込み文書】

（慶応元年六月頃）

質入品勘定の覚

（元治元年十月十五日頃）

近藤勇先生を送る漢詩（糟屋良循）

元治元年十月十五日

御進発の次第につき面々へ達書写

（元治元）子年十二月

筑波勢の信州・甲州辺における戦況につき探索書

元治二年春

漢詩二編

慶応元年（元治二年）正月

正月 11 二月 15 三月 19 四月 27 五月 31 閏五月 34 六月 36 七月 40

【挟み込み文書】

（慶応元）丑年正月二十二日

東海道浜松島宿左京宛書状受取につき覚（使伝右衛門）

未詳

日野宿助郷村々御伝馬触ならび廻状順につき覚

（慶応元）丑年二月二十二日

浜松宿島左京宛書状受取につき覚（使伝右衛門↓日野宿彦五郎）

16

14

14

11

10

9

8

7

7

1

1

年未詳	仲春十一日	本田角兵衛の計を聞く漢詩(小島韶齋).....	17
(慶応元年正月頃)		元治元年より上和田村・寺方村・本関戸村盜賊・放火等被害の覺.....	17
未詳		打越村桜洞寺探索書案(八王子宿某).....	19
未詳		百姓茂吉盜賊被害届.....	20
(慶応元年)二月三日		日野宿にて侍体の者追落手配・探索につき書状(柏木正五郎↓彦五郎)	20
(慶応元年二月)		日野宿にて八王子宿商人嘉助金子奪取られ候一件等につき注進状.....	20
(慶応元年)丑年四月四日		八王子宿真松院等探索書(日野宿名主彦五郎↓望月善一郎).....	23
(慶応元年)丑年四月四日		下恩方村心源院探索書(日野宿名主彦五郎↓望月善一郎).....	23
(慶応元年四月頃)		還曆賀筵招待状(桂林堂素文↓日ノ盛車).....	24
未詳		機山公漢詩(小島韶齋↓俊広).....	26
未詳		望月様より金高・人相問合せにつき口上.....	26
未詳		播州赤穂在西大才村西村春治等人相書.....	27
(慶応四年三月)		甲陽営中の漢詩二編(霞傳).....	27
(慶応元年)三月二十九日		御進発につき老中本多美濃守より申渡写.....	29
(慶応元年)三月		御上坂につき老中本多美濃守より大目付へ申渡写.....	29
(慶応元年)丑年四月二日		御進発御供につき老中阿部豊後守より申渡写.....	29
未詳		百姓要次郎弟秀吉衣類紛失届.....	38
慶応元年五月十二日		勘定奉行土屋豊前守より日野宿百姓只次郎等への差紙.....	38
未詳		地坪見取図.....	46
未詳		刀在銘拓本(寛永十一年二月於大坂和泉守国貞).....	48
未詳		疗的体治防疗散(朝敵退治防長散) 効能書.....	49
未詳		大林将雄名刺.....	49
(慶応元年)七月八日		大坂表在番につき書状(日野信藏↓佐藤彦五郎).....	49
年月未詳二十七日		徳川軍敗走の顛末につき書状(小島韶齋↓盛車老兄).....	50
(文久三)亥年八月二十五日		御上洛御用荷物継立につき被仰渡の摺物(町奉行佐々木信濃守↓通巷丁目家主源兵衛ほか一名).....	50
(慶応元年)丑年正月四日		観音寺并政五郎方盜賊被害届(小惣代惣兵衛↓大惣代).....	53
(慶応元年)丑年十一月二十五日		日野宿去子年買納不足金ならび丑年御年貢取立勘定等の覺.....	60

慶応元年十一月七日

野中新田六左衛門娘やす人別送状 (野中新田名主六右衛門↓日野宿御名主中)

慶応二年正月

..... 64

正月 64 二月 68

三月 70 四月 74 五月 78 六月 81 七月 83 八月 86

九月 89 十月 91

十一月 94 十二月 96

【狭み込み文書】

未詳

囚人大塚村百姓源次郎等着届..... 66

未詳

五街道筋往還道橋御普請所再見分御用につき井坂孫兵衛・小笠原勝次郎より御朱印伝馬人足触写..... 66

未詳

彦五郎割当銭の覚..... 71

(慶応二年)三月八日

野州天明町にて日野宿質屋渡世綿屋重蔵ならび召仕源八差押につき探索申付状 (関東御取締出役渡谷鷲郎↓田中屋万五郎)..... 72

(慶応二年)三月

日野宿百姓質屋重蔵ならび召仕源八身元届書案..... 73

慶応元年四月

日野宿百姓八十次郎伴倉吉人別送状案 (日野宿名主彦五郎↓東海道川崎宿名主惇太郎)..... 75

慶応元年四月十九日

下川原仙蔵衣類紛失につき口上 (庄七組↓佐藤彦五郎)..... 76

(慶応二年)四月七日

八日浪花より広島出張に伴い七日大坂城御本丸大広間にて千人銃隊一同御目見え相済候につき書状 (井上松五郎↓佐藤彦五郎)..... 77

(慶応二年)六月

土や平太郎・吉野や方盗賊被害につき覚..... 81

(慶応二年)七月五日

落合村久次郎欠込願につき書状 (富沢↓佐藤)..... 84

未詳

盗賊被害届 (忠七兼吉)..... 84

(慶応二年)寅年七月十六日

京都本願寺近藤勇宛書状請取につき覚 (日本橋室町式丁目定飛脚問屋京屋弥兵衛↓佐藤彦五郎)..... 86

(慶応二年)七月

紛失品の覚 (市兵衛組武兵衛)..... 86

未詳

駿州無宿熊五郎探索書..... 87

(慶応二年)

乞田村百姓勘治郎・吉左衛門盗賊被害届..... 87

(慶応二年)

田畑作毛見込届案..... 88

未詳

武家名前書..... 89

年月未詳二十二日

野鷲村の交事につき書状 (小島韶斎為政↓佐藤盛車老兄)..... 90

慶応三年正月

正月	99	二月	100	三月	101	四月	102	五月	105	六月	110	七月	114	八月	118
九月	121	十月	124	十一月	127	十二月	133								

【挟み込み文書】

(慶応三年)

未詳

(慶応二年六月)

奥州福島在越間田村仙蔵へ馬代金勘定につき覚
 久兵衛組音介後家店借家人紺屋渡世平助盜賊被害書届
 横浜表警衛御用の八王子千人同心衆御交代御通行にて日野宿止宿御達につき歎願書案(日野宿役人
 惣代芳三郎)

(慶応二年)六月四日

横浜表御警衛御用通行にて日野宿止宿御達につき書状(高木健平・石川政之進・上村井善平↓秋山
 紀左衛門)

(慶応二)卯年六月二十六日

未詳

(慶応三年)七月七日

百姓源次郎留守中盜難につき御届書(貝取村名主平蔵↓当組大惣代忠左衛門・当寄場彦五郎)
 板橋宿にて御召捕の元八王子村百姓彦左衛門倅由蔵逃去につき尋書(尋人喜助、家主行事作兵衛)
 大磯・平塚宿の間にて京都定飛脚近江屋喜平次荷物切解逃去につき急廻状(關東御取締出役吉田僊
 平次)

未詳

(慶応三)卯年十月二十日

小野路村出生菊次郎人相書
 着物紛失届(東光寺村定次郎↓倉次組)
 漢詩草稿二編(建田堅)

四 佐藤彦五郎日記

慶応四年(一八六八年) 正月(明治二年(一八六九) 九月)

明治元年(慶応四年) 正月

正月	135	二月	137	三月	142	六月	143	七月	143	八月	144	九月	145	十月	148
十一月	151	十二月	154												

【挟み込み文書】

未詳

新農兵撰技名前書

(慶応四)辰年二月

今般召捕えの麻布無宿本名吉兵衛事通名直吉等止宿ならび行状取調申付状(南町奉行駒井相模守組定廻り大沢藤蔵)

(慶応四年四月)

流山にて美髯公垂涙につき漢詩草稿

未詳

日野宿年貢諸役勘定の覚

(明治元年)十月

家譜可差出様御沙汰ならび下賜品御沙汰書写(弁事↓江川太郎左衛門)

明治二年正月

正月 158 二月 161

三月 163

四月 166

五月 169

六月 171

七月 174

八月 177

158

九月 179

【挟み込み文書】

(明治二年)正月二十一日

御面談申度につき明朝砂川村拙者宿迄御出来依頼の口上(砂川村旅宿篠崎謹五↓日野宿佐藤彦右衛門・芳三郎)

(明治二年正月)二十一日

書状即刻配達依頼の口上(↓柴崎村役人中) 太郎吉組初ならび裨俵数の覚

年月未詳二十三日

柳沢従四位殿郡山表へ帰邑途上川留にて府中宿滞留につき川明問合せの口上(郡山藩前田善左衛門↓日野川川役衆中)

五 新選組関係史料

一 近藤勇書状写帳

文久三年(一八六三年)五月頃〜六月六日

【1】文久三年五月頃

近藤勇書状写

181

【2】文久三年五月頃

近藤勇書状写

182

【3】文久三年六月三日

壬生村詰浪士惣代芹沢鴨・近藤勇口上書写(大坂東町奉行所宛)

182

【4】文久三年六月五日

浪士八人惣代芹沢鴨・近藤勇届書写(松平肥後守宛)

183

【5】文久二年四月十六日

筑前脱民平野国臣回天三策の密奏写(近衛宛)

183

【6】文久三年三月十七日

薩摩藩島津久光京都書置写

184

【7】文久三年五月二十五日

浪士連名建白書写(学脩院錦小路大馬頭等宛)

185

【8】文久三年五月二十五日

松平肥後守預壬生詰浪士建白書写(板倉周防守・松平肥後守宛)

185

【9】文久三年四月十七日

將軍徳川家茂断罪の張訴状写（三条大橋西詰張出）

186

【10】文久三年六月

浪士惣代芹沢鴨・近藤勇建白書写（松平肥後守宛）

186

二 近藤勇書状写（推定）

文久三年（一八六三年）八月上旬頃……

187

【特別寄稿】「佐藤彦五郎日記」に挟み込んであった漢詩文等について

石 島 勇

189

はじめに 190

(一) 元治元年（一八六四年）十月十五日頃 糟谷良循作 近藤先生を送る（漢詩） 190

(二) 元治二年（一八六五年）春 作者未詳 漢詩二編 191

(三) 慶応元年（一八六五年）仲春（二月）十一日 小島韶齋作 本田寛兵衛の計を聞き来咏 192

(四) 年未詳（小島韶齋作） 機山公咏史（漢詩） 193

(五) 慶応四年（一八六八年）三月 震僊作 甲陽宮中の作詩（漢詩二編） 193

(六) 年月未詳二十七日 佐藤盛軍宛小島韶齋書状 194

(七) 年未詳 建田堅作 漢詩草稿二編 195

(八) 慶応四年（一八六八年）四月 美髯公垂涙集（漢詩） 196

おわりに 197